

芸術がひらく未来

会場：ゆめたろうプラザ 情報考房

第1回

5月28日(金) ①15:00～②19:00～

終了しました

現場から考える「文化の薫る町」って何のこと？ 講師：榎本広樹さん／りゅーとぴあ

第2回

7月26日(水) 19:00～20:45 「アートとまちづくり」

講師：蓮見孝さん／博士(デザイン学)、札幌市立大学理事長・学長、教授、筑波大学名誉教授

今、なぜアートか。よりよく生きられる社会の姿とは？

アートを生かして、元気にまちづくりの活動をしている先進事例に学ぶ。

第3回

8月26日(土) 10:00～17:00

「未来を創るリーダーシップ」

～ひとりひとりが良きリーダーとなるために～

講師：鬼澤慎人さん／株式会社ヤマオコーポレーション代表取締役

組織が生きるか死ぬかは、人づくりにかかっている。

行政経営改革、組織変革、人材育成支援の多くの実績を持つ鬼澤氏を講師に、今回はワークショップ形式で。

第4回

9月23日(祝土) 18:00～21:00

「新時代の地域を創造する人財の育て方」

～小美玉市まるごと文化ホール計画～

講師：中本正樹さん／茨城県小美玉市市長公室政策調整課 主幹

ここで家族を作りたいと思えるまち、小美玉市。

そこには若い人たちが、いきいきと表舞台に立つ

たくさんの方がいる。

まちづくりは、人づくり。その仕掛け人から学ぶ。

入場無料 (要申込)

ゆめたろうプラザ窓口にて受付中

※電話申込みは TEL 0569-74-1211





NPO たけとよは、
武豊町と協働で
ゆめたろうプラザを
運営しています

NPO たけとよは、武豊町とともに「武豊町文化創造プラン」に基づき、ゆめたろうプラザ（武豊町民会館）を中心に、様々な事業を展開してきました。

2004年の開館当初のメンバーに、若い人たちも加わり、地域の皆様に支えられて13年間、夢中で走ってきました。そして今、20年後、30年後の未来に、私たちはどのように地域の姿や暮らしを描き、どのように次の世代にバトンを渡していくのか、真剣に考えたいと思っています。

そこで、そのヒントとなるお話を、「官」「民」「学」それぞれの立場で、人の育成と地域の活性化に取り組んでいる方々から伺い、地域の皆様と一緒に考えていきたいと思ひます。

《講師紹介》

第2回講師：蓮見孝さん／札幌市立大学学長（7月26日（水）19:00～20:45「アートとまちづくり」）



蓮見 孝 博士（デザイン学）札幌市立大学理事長・学長、教授、筑波大学名誉教授

1948年 神奈川県鎌倉市生まれ。69才。

1971年 東京教育大学教育学部芸術学科工芸・工業デザイン専攻卒業。

1971年 日産自動車入社 20年間にわたり日産自動車株式会社に勤務し、カーデザインに携わる。第1モデル課長、エクステリアデザインスタジオ代表チーフデザイナー等を歴任

1976年に大学院大学であるロイヤルカレッジ・オブ・アート（ロンドン）のオートモーティブデザインコースに社命留学

1991年 筑波大学に転籍 専任講師、助教授を経て2000年から教授。芸術専門学群副学群長、広報戦略室長（大学本部）、学長補佐などを歴任。2012年3月定年退職。筑波技術短期大学、東京理科大学等で非常勤講師、産業総合技術研究所兼任教授

2012年4月 札幌市立大学理事長・学長に就任。現在に至る

〔社会活動実績〕日本デザイン学会副会長・理事（1998-2015）、グッドデザイン賞審査委員（1995-2012）、JR東海デザイン委員（2014- 現）、（財）日本サイクリング協会評議員（2003- 現）等

〔地域活動実績〕茨城県総合計画審議委員会副会長（2009- 現）、茨城県生涯学習審議会・社会教育委員会会長（2002-2012）、いばらきデザインセレクション審査委員長（2005- 現）等

〔プロジェクト実績〕茨城県地域産学官共同研究事業プロデュース（1995-1997）、茨城県酒造組合「ピュア茨城」ブランドデザインのコーディネーター（2001-2003）、国立環境研究所での次世代電気自動車開発研究「P-Start」（1996-2002）等

〔著書〕『地域再生プロデュース－参画型デザインの実践と効果』、『ポスト「熱い社会」をめざすユニバーサルデザイン－モノ・コト・まちづくり』、『マルゲリータ女王のピッツァーかたちの発想論』（以上単著）、『医療環境を変える－「制度を使った精神療法」の実践と思想』、『多次元のコミュニケーション』、『デザインと感性』、『長寿社会を拓く－いきいき市民の時代』（以上分担執筆）など著書多数

第3回講師：鬼澤慎人さん／株式会社ヤマオコーポレーション代表取締役

（8月26日（土）10:00～17:00「未来を創るリーダーシップ」～ひとりひとりが良きリーダーとなるために～）



株式会社 ヤマオコーポレーション 代表取締役

茨城県水戸市在住

1962年 茨城県水戸市生まれ

1985年に上智大学経済学部経営学科卒業後、株式会社第一勧業銀行、米国投資銀行ソロモン・ブラザーズにて、金融のプロフェッショナルとして活動。

その後、地元茨城県に戻り、茨城県大同青果株式会社を経て、2000年に独立。現在、株式会社ヤマオコーポレーション代表取締役。1998年に経営品質の考え方に出会い、ひとりから茨城県内での経営品質普及活動を展開し水戸経営品質研究会を設立。その後賛同する仲間や企業を集めて、2000年に茨城県内企業90社の参加を得て茨城県経営品質協議会を設立し代表幹事となる。

2003年にはさらなる活動の展開をめざして特定非営利活動法人（NPO法人）茨城県経営品質協議会となり代表理事に就任（2010年より理事）。現在は茨城県内だけでなく、全国各地での経営品質の普及・支援活動に積極的に取り組んでいる。専門分野は「経営品質」と「リーダーシップ」。また民間だけでなく、地元茨城県をはじめ多くの地方自治体で行政経営改革、組織変革、人材育成の支援を続けている。

要職：一般社団法人地域経営推進センター 理事、NPO法人 茨城県経営品質協議会 理事、NPO法人 雇用人材協会 理事、認定NPO法人 日本再生プログラム推進ファーム 理事、ローカルマニフェストいばらき推進ネットワーク 代表、茨城大学理学部 非常勤講師、「あしたの学校」副代表（生徒会長）、水戸オセロプロジェクト 代表

著書：「実践！経営品質」共著（日本能率協会マネジメントセンター）、「経営品質向上テキスト」共著（生産性出版）、「行政経営改革入門」共著（生産性出版）

第4回講師：中本正樹さん／茨城県小美玉市市長公室政策調整課主幹

（9月23日（祝土）18:00～21:00「新時代の地域を創造する人財の育て方」～小美玉市まるごと文化ホール計画～）



小美玉市市長公室政策調整課 主幹 中本正樹

開館準備期間を含めみの～れ9年、アピオス5年、通算14年文化行政を担当。能祖将夫氏（前みの～れ・アピオス芸術監督）のもとで10年間、住民参加・参画を中心とした演劇・ミュージカル等のプロデュースを学び、また、山口茂徳館長から組織論、経営論、人生訓について薫陶を受ける。みの～れ誕生前から徹底した住民参画による事業企画運営を推進し、2000年建設省「対話型行政推進賞」、2009年財団法人地域創造「地域創造大賞」を授賞。町村合併後、旧隣の文化ホール改革に着手し、14.7%の大ホール稼働率を70%台に改善。その後、市まるごと文化ホール計画を住民参画により策定。

異動後の現在は、みの～れ育ちの後輩職員たちと共に庁内若手職員を巻き込んで地方創生に取り組む傍ら、舞台作品のプロデュース・脚本・宣伝美術等を務める。

住民参画による編著「文化がみの～れ物語」（茨城新聞社）、「まちづくり編集会議」（日本地域社会研究所）。